

令和8年7月3日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐野 伸
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 緒方 武虎
担当 管野・田原春 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査 (2026年6月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2026年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院(350施設)を運営する法人273法人(うち、医療法人228法人)*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2025年度の経営状況、業務委託費の状況等
- 回答数：病院：226 医療法人：149 有効回答数：病院：226 医療法人：149
- 有効回答率：病院：64.6% 医療法人：65.4%
- 実施期間：2026年6月1日(月)～2026年6月22日(月)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が $\Delta 3$ (前回調査より16%ポイント低下)、療養型病院が6(同14%ポイント上昇)、精神科病院は $\Delta 8$ (同6%ポイント上昇)となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が $\Delta 38$ (前回調査より10%ポイント低下)、療養型病院が15(同5%ポイント上昇)、精神科病院は $\Delta 3$ (同7%ポイント上昇)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が $\Delta 19$ (前回調査より8%ポイント上昇)、療養型病院が $\Delta 13$ (同7%ポイント低下)、精神科病院は $\Delta 36$ (同6%ポイント上昇)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が $\Delta 30$ (前回調査より10%ポイント上昇)、療養型病院が $\Delta 35$ (同5%ポイント低下)、精神科病院は $\Delta 51$ (同7%ポイント上昇)となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた病院は、一般病院が68.1%(前回調査より7.2ポイント低下)、療養型病院が73.1%(同9.1ポイント上昇)、精神科病院が53.8%(同13.6ポイント低下)となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは1(前回調査より9%ポイント低下)、事業収支(黒字・赤字)のDIは $\Delta 11$ (同2%ポイント低下)、資金繰りのDIは $\Delta 16$ (同2%ポイント上昇)、従業員数のDIは $\Delta 44$ (同3%ポイント上昇)となった。

【その他】

- 2025年度の医業収益は、前年度(2024年度)比で増加した病院が20.4%、減少した病院が12.4%となった。また、医業費用は増加した病院が31.6%となり、最終的に医業利益が減少した病院が36.9%となった。
- 2021年度比で2025年度の業務委託費の変化幅をみると、業務委託費(全体)は70.2%の病院で増加しており、「10%以上20%未満増」の病院が20.2%と最も多かった。